



2025年3月期第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

証券コード：2108 日本甜菜製糖株式会社

2024年11月8日



1. 【2025年3月期第2四半期（中間期）は減収増益】

詳細は5～11ページをご参照ください。

2. 【2025年3月期連結業績予想を下方修正】

今期業績予想について、売上高、利益を下方修正いたします。

詳細は12、13ページをご参照ください。

3. 【当社士別製糖所における火災発生について】

2024年10月15日（火）、当社士別製糖所において火災が発生いたしました。

本火災による当社業績に与える影響については現在調査中であり、今後、

開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

4. 【自己株式取得を実施しました】

- ・ 取得した期間 2024年6月6日から2024年7月25日まで
- ・ 取得した株式の総数 391,300株
- ・ 株式の取得価額の総額 999,811,500円

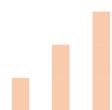


1. 第2四半期（中間期）決算概要	4 P～
2. トピックス	14 P～
3. ガバナンスの取り組み	18 P～
4. 参考資料	21 P～



てんさい
甜菜

「てん菜」は、「サトウキビ」となるぶ砂糖の主要原料です。
国内で生産される砂糖のうち、約1／4がてん菜を原料とする砂糖となります（令和5年度）。
北海道の十勝地方、オホーツク地方が代表的な生産地となります。



1. 第2四半期（中間期）決算概要



第2四半期（中間期）決算概要

- 前年同期比 砂糖事業、農業資材事業で減収
営業利益は726百万円減（59.1%減）
中間純利益は、固定資産の売却により、前年同期比366.7%増の5,816百万円

単位：百万円

	2024年3月期		2025年3月期			
	第2四半期実績 (A)	通期実績	第2四半期実績 (B)	前年との差異 (B)-(A)	前年同期比	通期予想に 対する達成率
売上高	32,408	69,297	29,182	▲3,226	▲10.0%	44.2%
売上原価	24,862	55,515	22,638	▲2,224	▲8.9%	—
売上総利益	7,546	13,781	6,544	▲1,002	▲13.3%	—
販売費及び一般管理費	6,317	12,870	6,041	▲276	▲4.4%	—
営業利益	1,229	910	502	▲726	▲59.1%	167.6%
売上高営業利益率	3.8%	1.3%	1.7%	—	—	—
経常利益	1,776	1,802	759	▲1,017	▲57.3%	84.3%
売上高経常利益率	5.5%	2.6%	2.6%	—	—	—
当期純利益	1,246	1,811	5,816	4,570	366.7%	98.6%



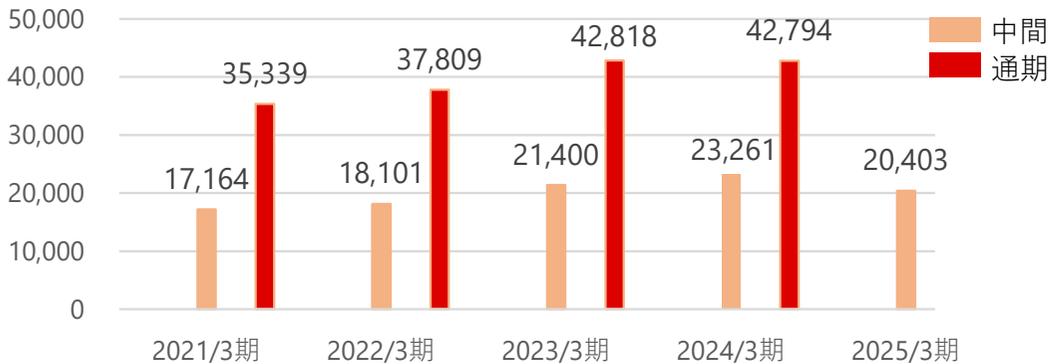
セグメント別 砂糖事業

単位：百万円

	2024/3期 2Q	2024/3期 通期	2025/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	23,261	47,294	20,403	▲2,857
営業利益	1,413	▲552	747	▲665

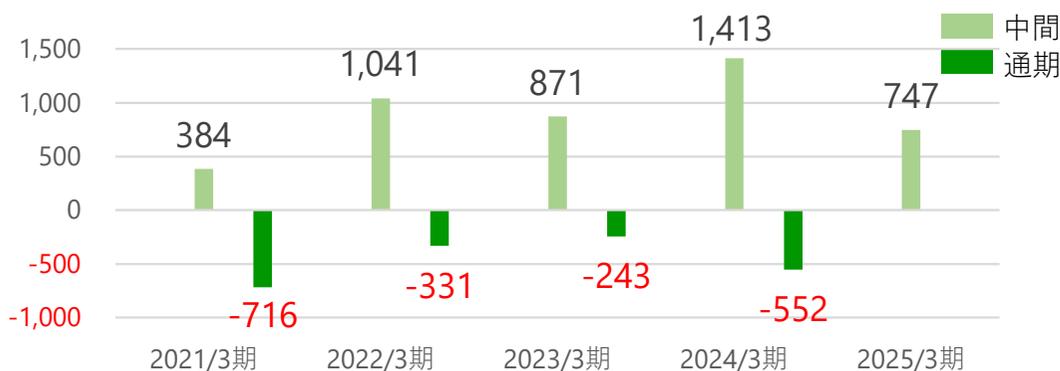
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



- 砂糖生産量が大きく減少
- 砂糖販売価格の上昇
- 海外粗糖相場上昇の影響を受け、販売単価は前年比で上昇
- 昨年の猛暑等による原料てん菜の低糖分による砂糖生産量の減少により、販売数量も減少
- 売上高は、天候に左右されるてん菜の豊凶、主要生産国であるブラジル、インドの作柄に影響される海外砂糖相場、国内砂糖消費量等、外部要因が大きく影響
- 天候による原料てん菜の糖分、品質が製造コストに関係してくるため、利益に大きく影響
- 2024年問題等を要因とする物流価格の上昇、人手不足によるコスト高騰、エネルギーコストの上昇が懸念材料



セグメント別 食品事業

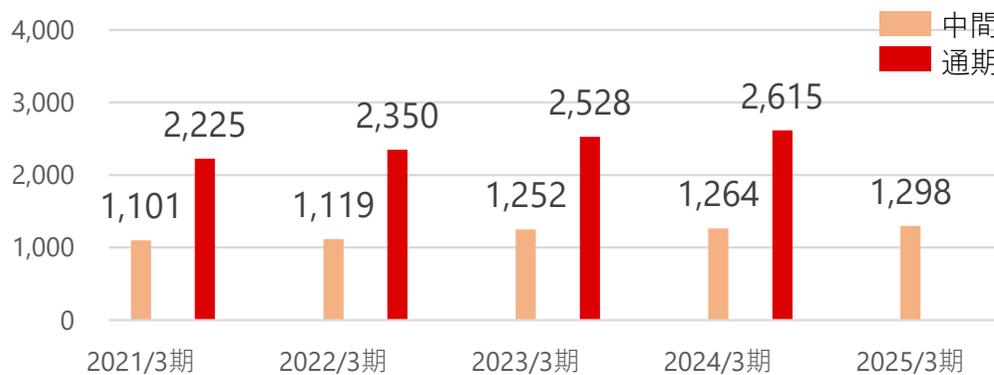
単位：百万円

	2024/3期 2Q	2024/3期 通期	2025/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	1,264	2,615	1,298	+33
営業利益	27	188	71	+44

- イーストの売上高増加
- フラクトオリゴ糖、ベタインの販売量が増加

売上高

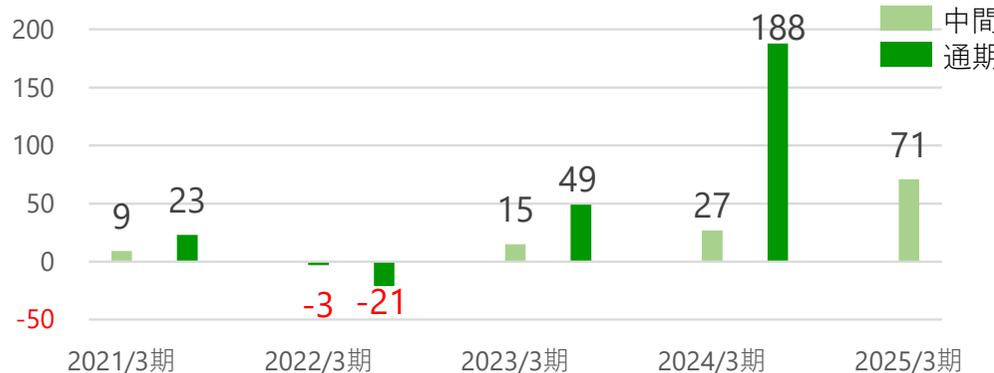
単位：百万円



- イーストは適正販売での販売に努め、売上が増加
- フラクトオリゴ糖は客先の家庭用向け製品の生産量増加による販売増、ベタインは化粧品向けが好調

営業利益

単位：百万円



- エネルギーコストが下落



セグメント別 飼料事業

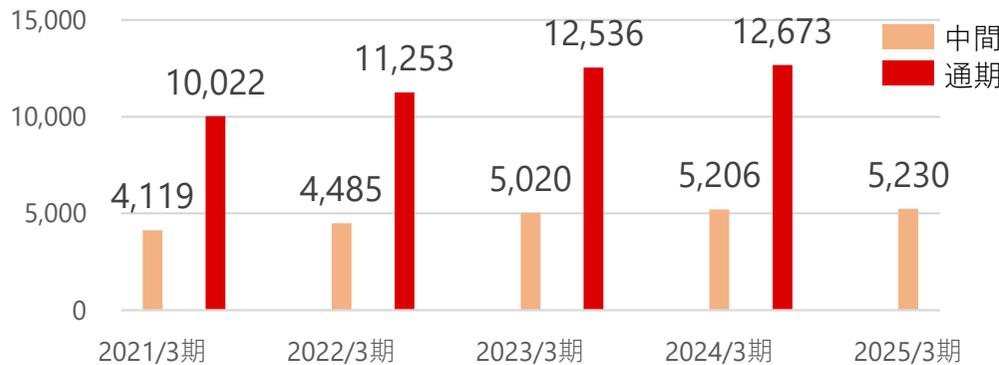
単位：百万円

	2024/3期 2Q	2024/3期 通期	2025/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	5,206	12,673	5,230	+23
営業利益	▲676	121	▲183	+493

- 配合飼料は売上高増加
- ビートパルプは販売減少により売上高減少

売上高

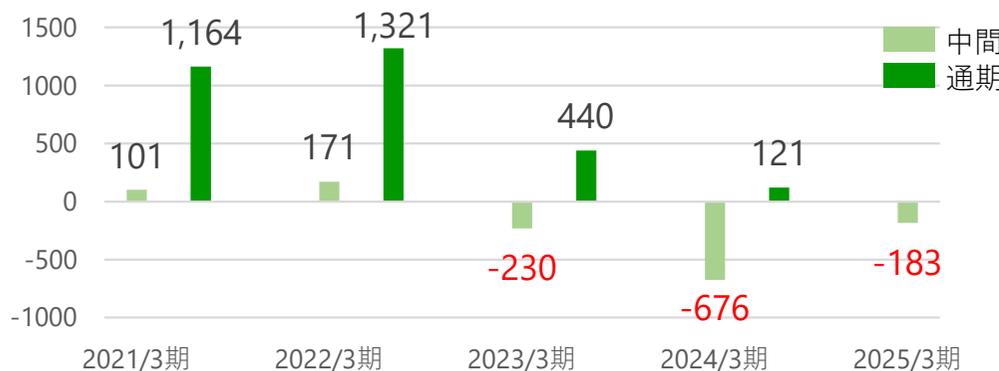
単位：百万円



- 原料価格の下落により配合飼料の販売価格は下落も、指定生乳生産者団体による牛乳の生産抑制解除により販売量が回復
- ビートパルプは猛暑による昨年産てん菜の生産量が大幅に減少した影響により、販売量が減少

営業利益

単位：百万円



- 棚卸資産評価損が減少

※ビートパルプ：製糖所で「てん菜」を裁断し糖分を抽出した後の繊維質で、主に牛用の飼料として使用されております。

温室効果ガス（GHG）削減の取組

牛のゲップに含まれる温暖化ガスの一種であるメタンを抑制することで知られている、紅藻類カギケノリを北海道で陸上養殖し、それを原料とした飼料の製品化に取り組んでおります。

※ 詳細は当社HP「IRライブラリ」をご参照ください。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/ir_news20231120.pdf



セグメント別 農業資材事業

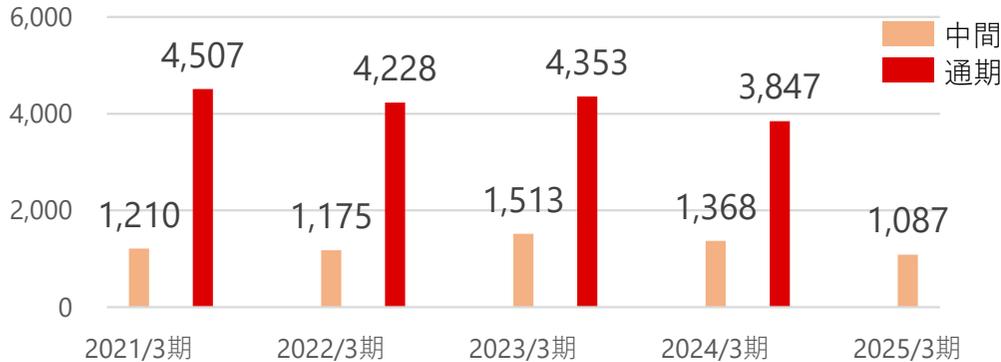
単位：百万円

	2024/3期 2Q	2024/3期 通期	2025/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	1,368	3,847	1,087	▲281
営業利益	69	179	▲437	▲507

- 紙筒は売上高が減少
- 農業用機械器具の売上が増加
- 棚卸資産評価損発生による営業利益減

売上高

単位：百万円



- 直播拡大によりビート用紙筒、移植機の販売が減少傾向
- そ菜用、輸出用の紙筒が増加傾向
- 前年上期は紙筒値上げ前に生じた先取り需要があった

営業利益

単位：百万円



※直播：ポット等で育苗しないで、直接畑や庭にタネをまくこと



セグメント別 不動産事業

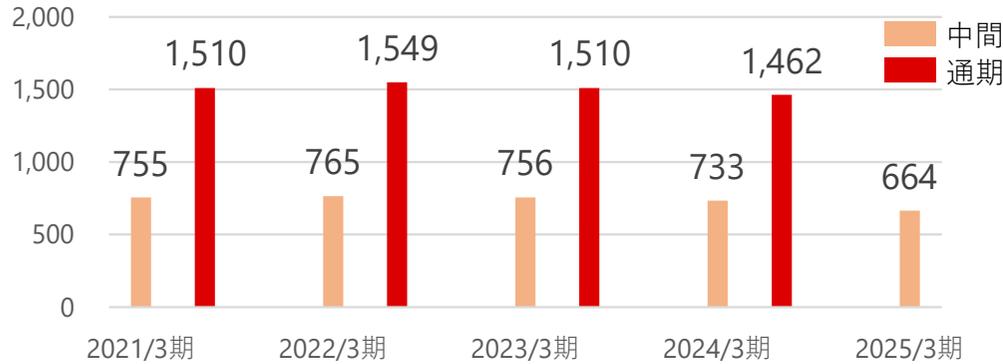
単位：百万円

	2024/3期 2Q	2024/3期 通期	2025/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	733	1,462	664	▲68
営業利益	460	903	374	▲86

- 一部賃貸物件の稼働率が低下

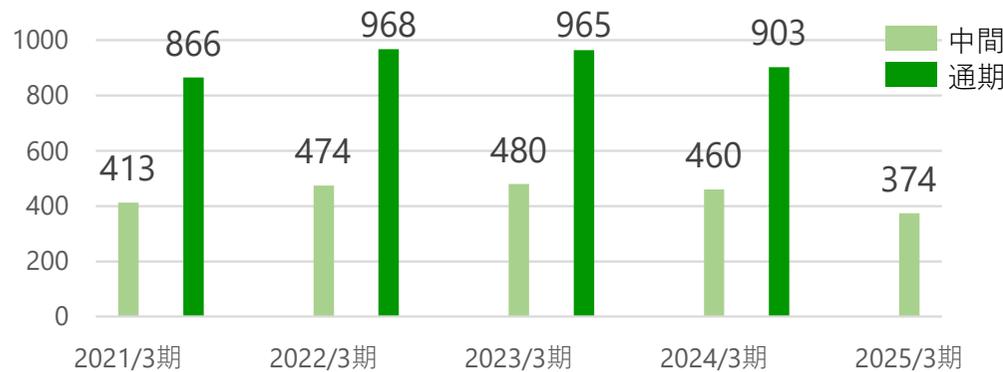
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円





単位：百万円

	2024/3期 2Q	2024/3期 通期	2025/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	574	1,404	498	▲75
営業利益	▲113	65	▲120	▲6

- 書籍販売事業からの撤退による売上減
- 貨物輸送等の売上・利益は増加

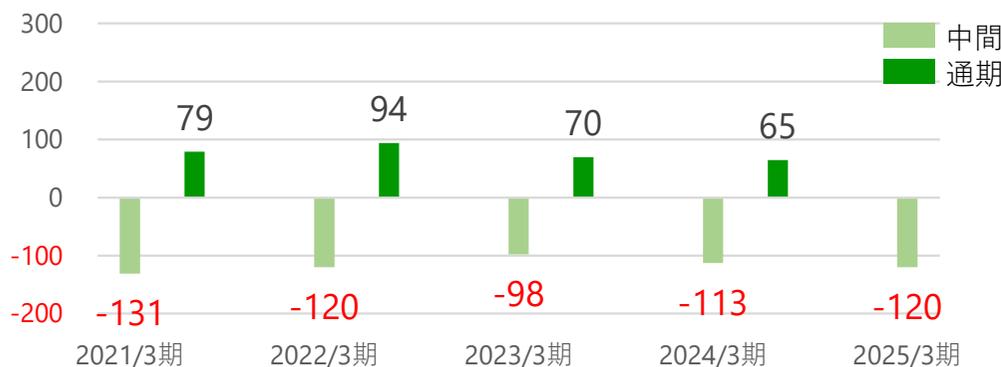
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



- 秋に農作物の輸送があるため、下期に利益が増える傾向あり



今期業績予想の修正について

- 上期にて、棚卸資産評価損が発生したため、減益。
 - 砂糖事業において、販売単価の下落により減益の見込み。
- ⇒これらにより利益が当初の予想より減少する見通しとなったことから

2024年5月14日に公表した通期連結業績予想を修正いたします。

ただし、土別製糖所にて発生した火災が当社業績に与える影響については、現在調査中です。今後、業績への重要な影響が見込まれ、開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

2025年3月期通期連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 67,000	百万円 600	百万円 1,200	百万円 6,200	円 銭 482.73
今回修正予想(B)	66,000	300	900	5,900	465.89
増減額 (B - A)	△1,000	△300	△300	△300	
増減率 (%)	△1.5	△50.0	△25.0	△4.8	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	69,297	910	1,802	1,811	138.47

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。



今期業績予想と前期実績との比較

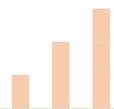
今回修正後の通期業績予想と前期実績との比較は以下のとおりとなります。

- 営業利益、経常利益はともに、前期より減少する見込みですが、当期純利益は固定資産売却により大幅増加の見込みです。
- 砂糖事業においては、販売単価の下落等が見込まれ非常に厳しい状況ですが、効率的な製糖に努め、製造コストの低減を図ってまいります。

単位：百万円

	2024年3月期		2025年3月期			
	第2四半期実績	通期実績(A)	第2四半期実績	前回(5/14)通期予想	今回修正通期予想(B)	前期比(B÷A)
売上高	32,408	69,297	29,182	67,000	66,000	95.2%
売上原価	24,862	55,515	22,638	—	—	—
売上総利益	7,546	13,781	6,544	—	—	—
販売費及び一般管理費	6,317	12,870	6,041	—	—	—
営業利益	1,229	910	502	600	300	32.9%
売上高営業利益率	3.8%	1.3%	1.7%	0.9%	0.5%	—
経常利益	1,776	1,802	759	1,200	900	49.9%
売上高経常利益率	5.5%	2.6%	2.6%	1.8%	1.4%	—
当期純利益	1,246	1,811	5,816	6,200	5,900	325.7%

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。



2. トピックス



個人投資家向け説明会

2024年9月7日、個人投資家向け説明会（大和インベスター・リレーションズ(株)開催）を東京で実施いたしました（昨年は札幌開催）。事業概要等を説明した後、ご出席者様からのご質問にお答えいたしました。



ご来場者様のご感想（抜粋）

- ・日本の食料自給率38%を何とかしなくてはと思っているので、応援したいと思いました。
- ・北海道の農業で、てん菜は輪作体系の柱となっており、重要なことですね。
- ・社長の考え方が時代の方向性に沿っていいなと感じました。



第78回ジャパン・フード・セレクションにて 「北海道まるやかてんさい糖」がグランプリを受賞

一般社団法人日本フードアナリスト協会が主催する「第78回ジャパン・フード・セレクション (2024年8月)」において、当社製品「北海道まるやかてんさい糖」が最高評価である「グランプリ」を受賞しました。



「ジャパン・フード・セレクション」とは

(一社)日本フードアナリスト協会が主催する日本初の食品・食材評価制度です。同会に在籍する2万3千人の「食の情報の専門家」であるフードアナリストが審査を担当、公正・中立な審査体制のもと、日本人の繊細な味覚・嗜好性・感性・食文化に配慮した評価を行います。

「グランプリ」は審査項目での得点率が90%以上の評価を得た商品のみが受賞できる最高評価の賞です。

フードアナリストの評価ポイント

- ・優しい味で、サクサクした粒感を楽しめるのが良いと感じた。
- ・ほんのりと優しい甘さが味を主張しすぎず、健康的に感じる。
- ・北海道でしか栽培されていないというフレーズに心が惹かれる。
- ・まるやかでコクがあるので美味しく、様々なものに使用できる。
- ・原料にこだわった甘みというのは、非常にニーズがあると思う。
- ・柔らかい甘さでコクがあり、そのまま舐めても美味しい。
- ・余計なものが使われていないので、安全性が高い。



2024年8月
グランプリ受賞

商品の特長

北海道オホーツク産のてん菜のみを使用。オホーツク地方の真ん中、美幌製糖所でつくりました。製品の色は、煮詰められた過程で自然に色づいたものです。着色料は使用しておりません。まるやかで角のない味で、料理もお菓子も優しく仕上がります。飲み物やヨーグルト等の味付けにも。日本甜菜製糖オンラインショップからもご購入いただけます (<https://nitten-ec.shop-pro.jp/>)



「ビート資料館フェスタ 2024 スイーツフェア」を開催いたしました

「ビート資料館フェスタ」を、9月7日に開催いたしました。ビート糖を使用したスイーツやパン等を販売した他、資料館ツアー等も行い、てん菜・てん菜糖の歴史、砂糖の製造方法等を地域の皆様にお伝えさせていただきました。



吹奏楽演奏



トロッコ乗車体験



射的

「ビート資料館フェスタ」は日本甜菜製糖グループのSDGsへの取り組みの紹介、地域貢献等を目的とし、2014年から開催しております。

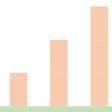
「ビート資料館」のご案内



〒080-0831 北海道帯広市稲田町南8線西14番地
休館日 月曜日・年末年始・8/15・9/5
<https://beet-museum.jimdoweb.com/>

てん菜糖の歴史、製造方法等を一般の皆様にお伝えするための施設として運営しております。

※ご来訪の際はご予約いただければスムーズに見学いただけます。



3. ガバナンスの取り組み



- 日甜グループ中期経営計画において、**砂糖事業・不動産事業**を**基盤事業**とし、**食品事業・飼料事業・農業資材事業**を**成長事業**と位置付けております。
直近の事業年度における各事業における設備投資・研究開発投資・人的資本への投資等の状況については以下のとおりです。

成長事業

【2024年3月期】

単位:百万円

		砂糖事業	食品事業	飼料事業	農業資材事業	不動産事業	その他の事業	※全社	合計
外部顧客への売上高		47,294	2,615	12,673	3,847	1,462	1,404		69,297
内部売上を含む売上高	A	47,431	2,649	12,689	3,847	1,587	6,699		74,904
事業毎の利益	B	-552	188	121	179	903	65		905
事業毎の資産	C	39,042	2,798	4,637	5,538	8,120	2,914	39,969	103,022
投資額	D	2,210	29	386	79	467	186		3,360
減価償却費		1,488	52	243	131	306	184		2,406
人員数	E	358名	57名	49名	136名	2名	90名	82名	774名
人員の増減(前年比)		+11名	-8名	-2名	-3名	+1名	+3名	-1名	+1名
試験研究費	F	310	80	124	65	-	-		581

従業員1名あたり売上高	A/E	132.5	46.5	259.0	28.3	793.5	74.4		96.8
従業員1名あたり利益	B/E	-1.5	3.3	2.5	1.3	451.5	0.7		1.2
試験研究費の売上高比率	F/A	0.7%	3.0%	1.0%	1.7%				0.8%
事業利益/事業資産	B/C	-1.4%	6.7%	2.6%	3.2%	11.1%	2.2%		0.9%
投資の売上高比率	D/A	4.7%	1.1%	3.0%	2.1%	29.4%	2.8%		4.5%

※全社(資産)は、現預金及び有価証券等です

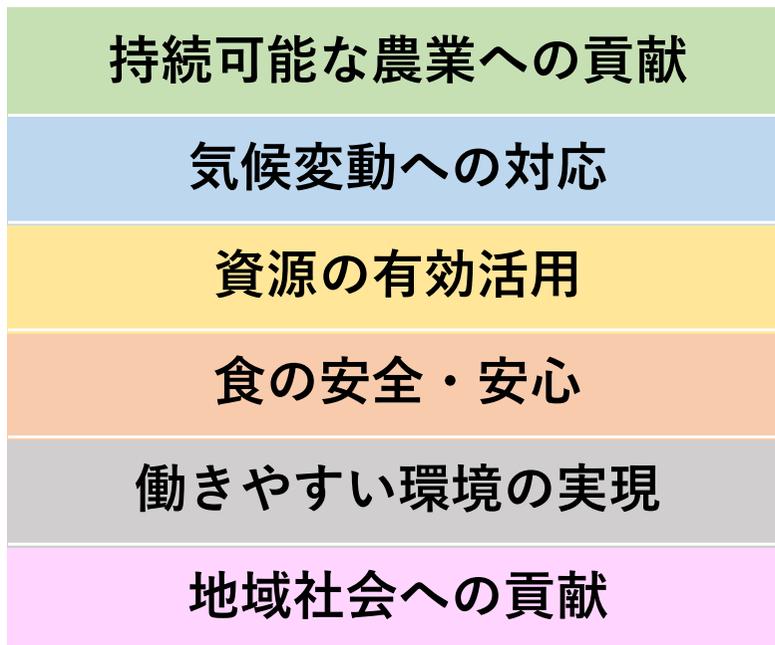
※全社(人員)は、管理部門の従業員です



2030年度 環境数値目標

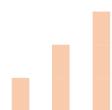


マテリアリティ



北海道農業を支える取り組みを進めるとともに、地球環境や地域共生社会の実現に視野を広げ、持続的な発展を目指します。

詳細は日本甜菜製糖(株)HP
サステナビリティ情報をご参照ください。
<https://www.nitten.co.jp/sustainability/>



4. 参考資料



社名	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社
社名英訳	Nippon Beet Sugar Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田三丁目12-14 ニッテン三田ビル
代表者	取締役社長 石栗 秀
資本金	82億7千9百万円
創立	1919年（大正8年）6月11日
従業員数	782名（連結）／640名（単体）
株式	東京証券取引所 プライム市場（証券コード 2108）

日本甜菜製糖グループ パーパス

畑から、食卓へ。
てん菜から広がる可能性を見だし、
人と環境にやさしいものづくりで、
北海道、そして日本の未来に貢献します。



日本甜菜製糖



畑から、食卓へ。

⇒日甜グループは畑から食卓まで全てに関わっている



てん菜から広がる可能性を見だし、

⇒日甜グループはてん菜を有効利用し、その価値を高めることができる

人と環境にやさしいものづくりで、

⇒人にやさしい＝誰かが喜ぶものづくり

⇒環境にやさしい＝環境負荷を減らすものづくり



北海道、そして日本の未来に貢献します。

⇒わたしたちが出来ること、すべきこと

北海道だけでなく、日本の未来も見据えた事業を行なっていく

わたしたちは、これからも持続可能なてん菜産業の発展に尽力して参ります。





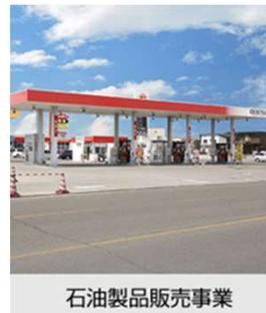
会社名	十勝鉄道（株）	スズラン企業（株）	ニッテン商事（株）	サークル機工（株）
住所	北海道帯広市稲田町 南9線西13番地1	北海道帯広市稲田町 南8線西12番地1	千葉県千葉市美浜区新港 30番地6	北海道滝川市幸町 3丁目3番12号
設立	1923年（大正12年）	1971年（昭和46年）	1938年（昭和13年）	2009年（平成21年）
事業内容	貨物自動車運送業 倉庫業 自動車整備業 農畜産事業	スズランボウル ガソリンスタンド （3カ所） 保険代理店	食品卸業 （砂糖・イースト・製菓 製パン用食材） 日本甜菜製糖オンライン ショップ（ https://nitten-ec.shop-pro.jp/ ）の運営	農業用機械の製造・ 販売
資本金	1,500万円	1,000万円	1,800万円	1,500万円



貨物自動車運送業



帯広 スズランボウル



石油製品販売事業



北海道ビートオリゴ



苗の移植機



北海道で製造された砂糖を、全国のお客様へ納入



①北海道の畑で、てん菜を生産



②北海道にある当社三製糖所で、
てん菜から砂糖を製造



③北海道より、貨物コンテナ、
海上コンテナ、トラックで日本全国へ運搬

国内砂糖生産体制の確立と北海道寒冷地農業の振興を目的として「てん菜」栽培がスタートしました。

畑作では連作障害を避けるため、輪作が欠かせません。

てん菜は畑作の基幹作物であり、砂糖以外にも牛の餌となるビートパルプは北海道の酪農に大きく貢献しております。また、ラフィノース(オリゴ糖の一種)、ベタイン(アミノ酸の一種)等も含まれています。

我々は、北海道の輪作体系を維持し、安全安心な国産の砂糖を安定的に提供してまいります。



てん菜から種々の事業が派生

食品事業



砂糖製造・バイオ技術を活用

砂糖事業



北海道内の三製糖所で「てん菜」から砂糖を製造し、全国で販売。
精製糖は北九州市で製造し西日本地区で販売

飼料事業



てん菜の繊維質（ビートパルプ）は牛の飼料として活用
牛用の配合飼料を販売

農業資材事業



てん菜栽培の技術を活用

不動産事業



社有地を積極的に高度利用
帯広 商業施設
東京 オフィスビル 等

その他の事業



砂糖事業

【砂糖】

- ・業務用、家庭用合わせて日本で消費される砂糖の10%強を供給
- ・家庭用の「スズラン印」は北海道、中国地方を中心に販売

食品事業

【製パン用のパン酵母】 【オリゴ糖等食品素材】

- ・製パンに使われるパン酵母(イースト)を製造販売
- ・てん菜由来のオリゴ糖やベタイン(アミノ酸の一種)等

飼料事業

【牛用の配合飼料】 【ビートパルプ】

- ・北海道内で主に乳牛用の配合飼料を製造・販売
(イーストやオリゴ糖を配合した機能性のある商品が特長です)
- ・ビートパルプ(てん菜の繊維質)は国産の牛の飼料です

農業資材事業

【紙筒(ペーパーポット®)】 【農業用機械器具】

- ・当社が開発した紙製の農業用資材(紙筒~ペーパーポット®、チェーンポット®)は、てん菜(ビート)の他、ネギ等のそ菜の苗作りにも使われております
- ・紙筒専用の機材や、育苗用の培土等も取り扱っております

不動産事業

【北海道、東京等で不動産賃貸】

- ・北海道帯広市で複合商業施設を賃貸しており、地域の皆様の暮らしに貢献しています
- ・東京でオフィスビル等を賃貸しております(他にも札幌市や下関市等)



「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍

収益



※ 詳細は当社HP「第2次中期経営計画(2024年3月期～2028年3月期)」をご参照ください。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/2nd_middleplan.pdf



「健康社会の実現」



オリゴ糖は難消化性の為、胃や小腸で消化吸収されず大腸に届きます。
ビフィズス菌等の有用菌を増やす効果が期待できます。

ラフィノース

てん菜に僅かに含まれる天然のオリゴ糖です。健康志向の食品素材として幅広くご使用いただけます。



ラフィノース100
ラフィノースを食べやすい
顆粒状にした商品



北海道ビートオリゴ
ラフィノースを含む
シロップ

フラクトオリゴ糖

てん菜糖の副産物であるてん菜糖蜜を原料とし、北海道で製造しています。
糖蜜由来の香ばしい風味とすっきりとした甘さが特長です。



北海道どさんこオリゴ
フラクトオリゴ糖を
含むシロップ



一般社団法人日本フードアナリスト協会が主催する2023年8月「第66回ジャパン・フード・セレクション」でグランプリを受賞しました。



「海外への展開」



海外事業部の主導のもと、海外展開を図るため、欧米等の市場調査、販路拡大を行っております。日本のみならず、世界の農畜産業への貢献も果たしてまいります。

DFAⅢ（オリゴ糖の一種） ～乳牛の健康促進～

乳牛親牛の分娩後のカルシウム吸収と仔牛の出生後の免疫物質吸収に効果があります。機能性のある配合飼料や牛用サプリメントに応用されています。海外の酪農家に向けて輸出の準備を進めています。



コウシのミカタ®
乳牛の仔牛用のサプリメント

独自の育苗用資材 ～農作業の省力化、収量増加～

てん菜の栽培技術を応用して野菜や林木用の育苗資材として販売しています。海外では有機農業分野からの引き合いが増加しています。



紙製の育苗資材「チェーンポット®」
専用の移植機「ひっぱりくん®」



「未来への挑戦」



てん菜の食品以外の新たな用途拡大
～これまでなかったものに挑戦していきます。～



てん菜は二酸化炭素の吸収量が多い作物であり、甘味資源としての利用に加えて、化石資源消費の削減に繋がる新たな活用に取り組んでいます。

CNFの原材料

CNF

(Cellulose Nano Fiber)

セルロースナノファイバー)

ナノメートルサイズの、軽量、高強度のセルロース繊維で、植物由来であり、環境負荷が少ない点でも、昨今注目されています。

樹脂と混ぜて強度を高める等
様々な用途が期待されています。

SAFの原材料

SAF

(Sustainable Aviation Fuel)

持続可能な航空燃料)

ジェット機で使用できる航空バイオ燃料で、化石燃料と比較して二酸化炭素の排出量を大幅に削減できるため注目されています。

酵母により油脂生成を図る共同研究を神戸大学と取り組んでいます。

糸状菌タンパク質の原材料

砂糖の製造過程で発生する副産物から食品資源である糸状菌タンパク質を生み出すことで、動物性タンパク質の代替となる飼料や食品の生産に挑戦します。

ノルウェーのオスロに本社を置く Norwegian Mycelium AS と提携し、技術開発を進めています。

砂糖、イーストで培った製糖技術、バイオ技術の応用



過去3年間の業績推移

- 当社グループは、売上高経常利益率を経営指標として設定し、目標とする売上高経常利益率を4.0%としております。

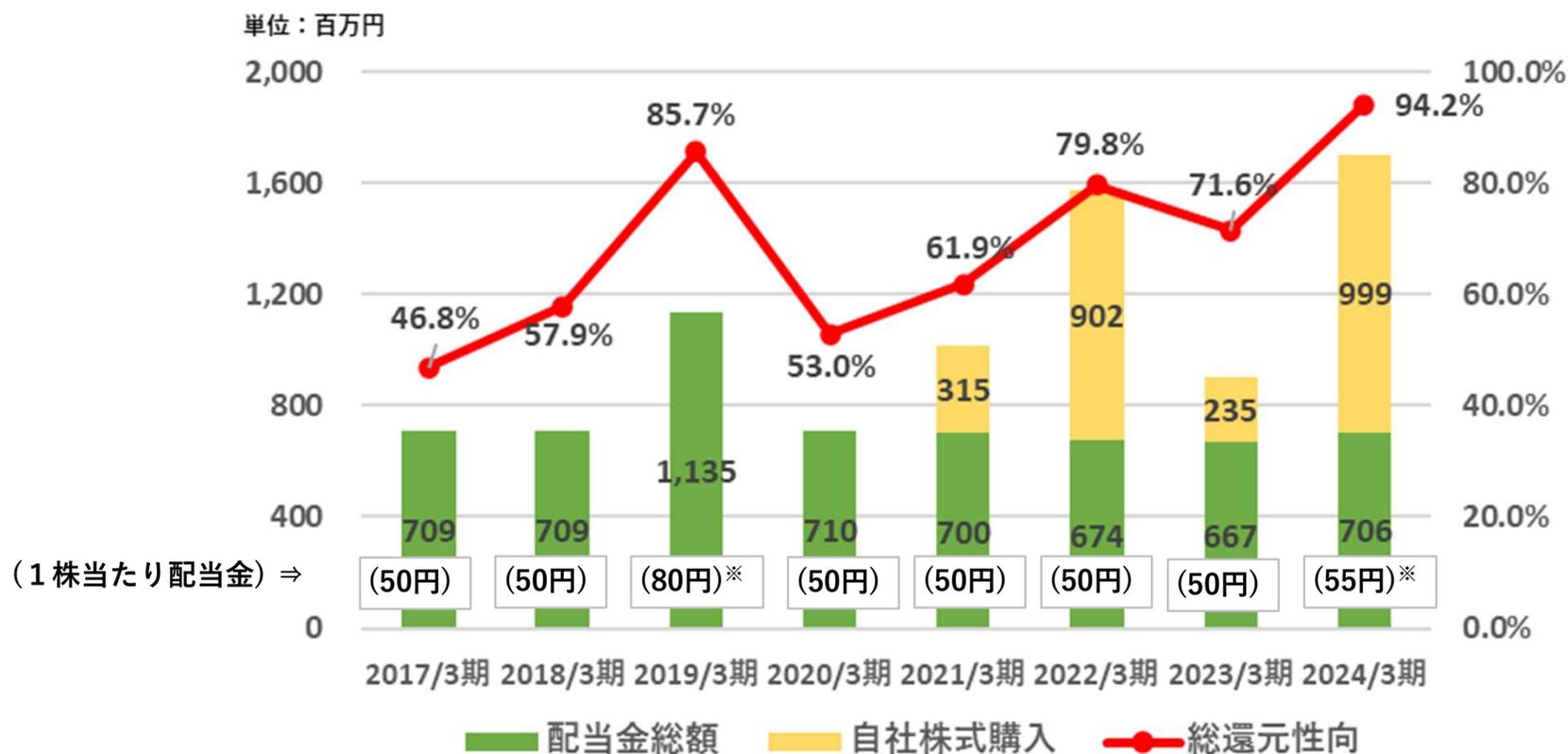
単位：百万円

	2022年3月期 第2四半期	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	2024年3月期	2025年3月期 第2四半期
売上高	26,197	58,492	30,501	65,013	32,408	69,297	29,182
経常利益	1,882	2,818	1,426	1,993	1,776	1,802	759
当期純利益	652	1,975	981	1,260	1,246	1,811	5,816
純資産額	68,641	67,918	67,587	68,134	71,578	72,535	76,737
総資産額	93,227	100,458	92,325	103,149	95,300	103,022	99,666
1株当たり 純資産額(単位:円)	4,896.95	5,037.45	5,008.64	5,102.17	5,479.01	5,647.57	6,162.05
1株当たり 当期純利益額(単位:円)	46.59	141.76	72.75	93.59	94.30	138.47	459.32
売上高経常利益率	7.2%	4.8%	4.7%	3.1%	5.5%	2.6%	2.6%
自己資本比率	73.6%	67.6%	73.2%	66.1%	75.1%	70.4%	77.0%
株主資本利益率 (ROE)	—	2.9%	—	1.9%	—	2.6%	—
売上高のうち砂糖事業 の占める割合	69.1%	64.6%	70.2%	65.9%	71.8%	68.2%	69.9%



●株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要な政策と位置づけています。

- 2024年3月期から配当方針を「1株あたり50円以上」と変更し、2025年3月期の配当は80円を予定しています。
- 必要に応じて自己株式の取得を検討いたします。



※2019/3期は1株につき50円の普通配当に加え、30円の創立100周年記念配当を実施いたしました。

※2024/3期は1株につき50円の普通配当に加え、5円の特別配当を実施いたしました。

※総還元性向は（配当金の総額＋自己株購入金額）／連結純利益で計算しています。（百万円未満切捨）



●2023年2月から株主優待制度を実施

- 毎年3月末現在（基準日）の株主名簿に記載または記録された株主様
（年1回 7月上旬のお届け予定です。）

所有株式数	贈呈品
100～499株	1,000円相当
500～999株	1,500円相当
1,000株以上	2,500円相当



グラニュー糖 1Kg



上白糖 1Kg



北海道どさんこオリゴ 300g
フラクトオリゴ糖を含むシロップ



ポケットシュガー 3g×30本



- 東京証券取引所 プライム市場
- 証券コード 2108
- 新聞の経済面等では銘柄名が「甜菜糖」と記載されています。

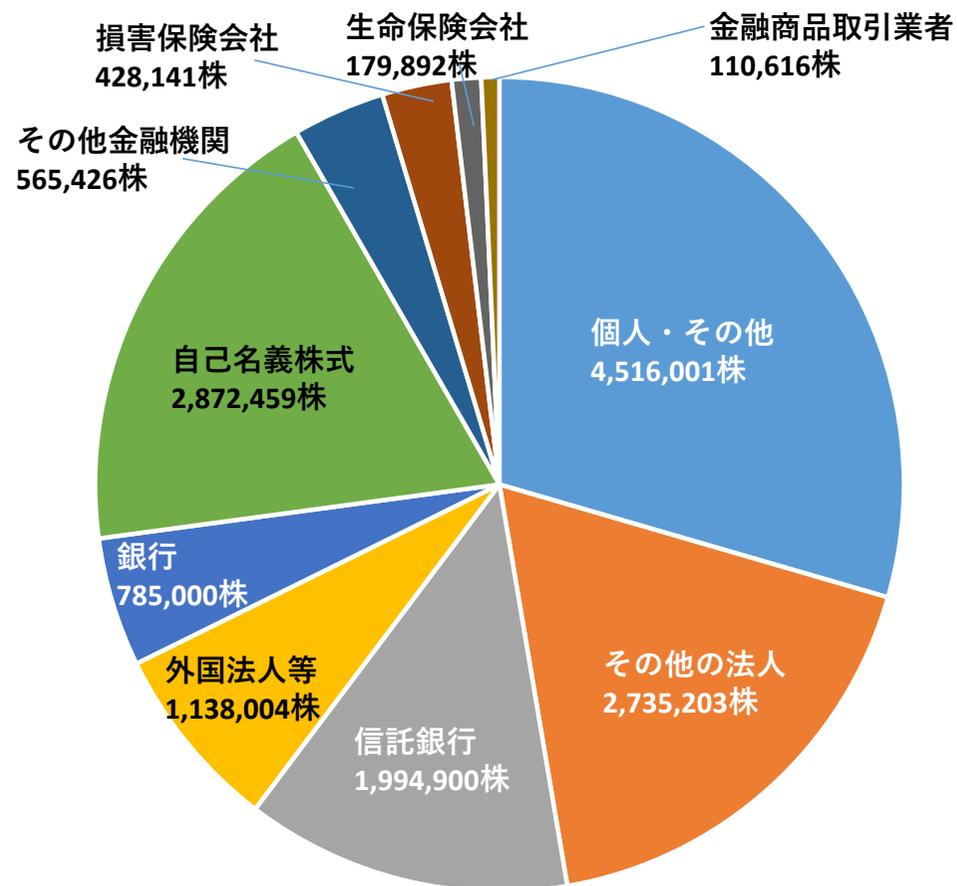




大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	1,331,500	10.69
明治ホールディングス 株式会社	993,845	7.98
ニッテン共栄会	955,188	7.67
農林中央金庫	514,926	4.13
東京海上日動火災保険 株式会社	428,141	3.44
株式会社 日本カストディ銀行	377,500	3.03
株式会社みずほ銀行	355,183	2.85
NIPPON EXPRESSホール ディングス株式会社	320,288	2.57
DM三井製糖ホールディ ングス株式会社	265,300	2.13
スズラン持株会	259,456	2.08

株主構成分布状況

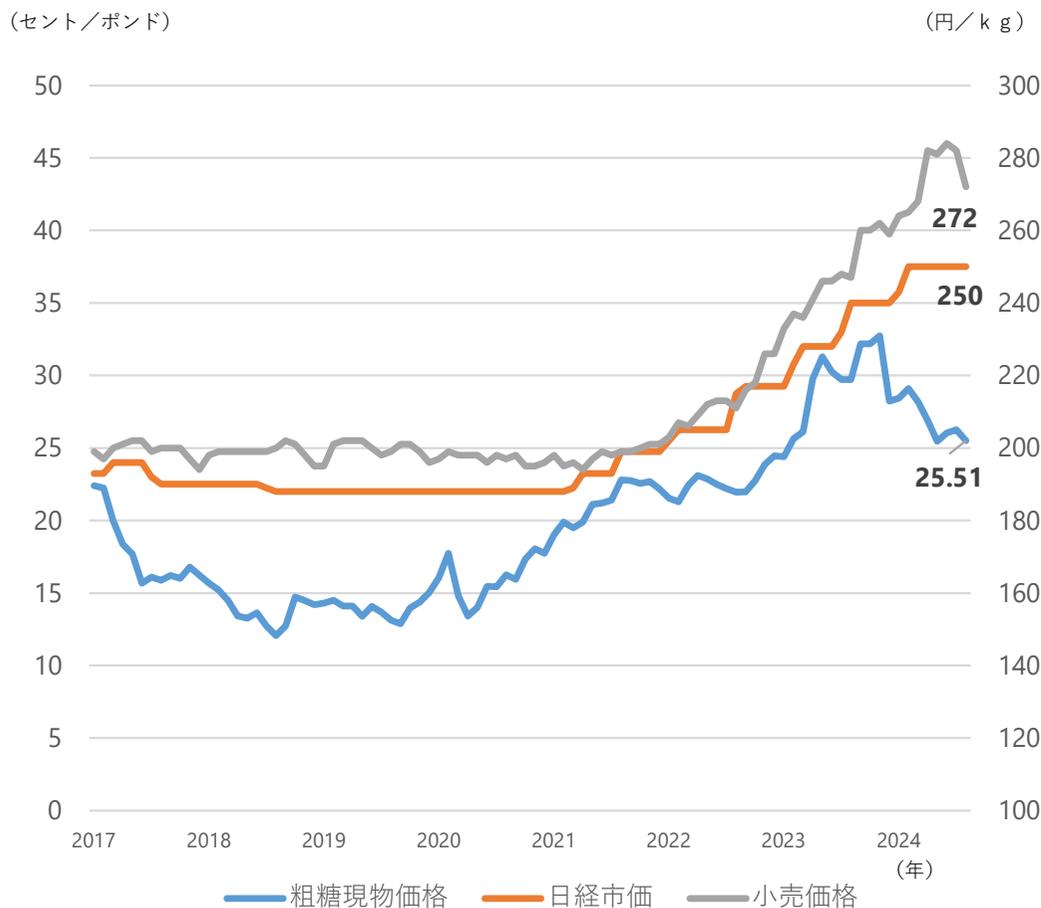


※当社は自己株式2,872,459株を所有しておりますが、
上記大株主の記載からは除外しております。
※持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。



砂糖市場の推移

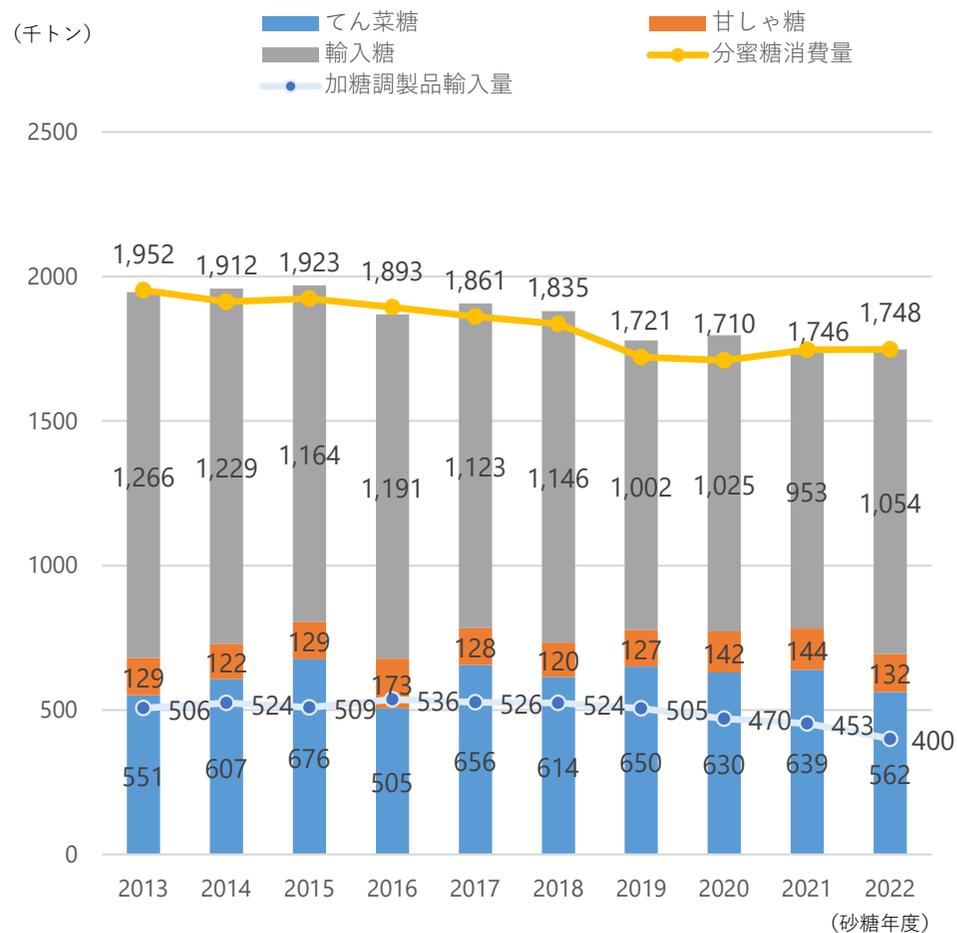
2017年1月~2024年8月



注1：小売価格は、総務省統計局調べ
 注2：日経市価は、日本経済新聞の市中相場（東京、上白、30kg大袋入り）の価格（消費税抜き）で、各月の平均値
 注3：粗糖現物価格は、東京商品取引所・大阪堂島商品取引所調査の粗糖現物価格（月平均価格）

砂糖消費量の推移

2013年~2022年(砂糖年度)



※砂糖年度とは、当該年の10月から翌年の9月までの期間

農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」より当社作成

当社は「開拓者精神を貫き 社会に貢献しよう」の社是のもと、北海道寒地農業の振興と国内甘味資源自給率確保の社会的使命を企業理念として、主業のビート糖事業を中心に公共性の高い事業を営んでおります。

てん菜（ビート）は、北海道の畑作農業に欠くことのできない基幹作物の一つでもあります。そのため、ビート糖事業には原料生産者をはじめ多くのステークホルダーが存在しており、企業利潤追求の枠を超えて、長期的かつ安定的に事業を継続することが求められております。

また、当社グループはビート糖事業以外にも、精製糖、飼料、農業資材、不動産等の様々な事業を展開しておりますが、企業としての継続的な成長と、企業価値の向上を目指すとともに、「持続可能な社会の実現」のために引き続き努力していきます。

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【お問い合わせ先】

日本甜菜製糖株式会社

法務室法務課

ir@nitten.co.jp



11月30日は「いい砂糖の日」です。